

News Release

J:COM とワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーが 日本での戦略的提携を拡大

ディスカバリーチャンネル、アニマルプラネット、カートゥーン ネットワーク、MONDO TV、旅チャンネル、ムービープラスおよび Lala TV の 7 チャンネルを合併会社で一括運営へ

JCOM 株式会社(以下 J:COM)とワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーは本日、日本での新たな戦略的提携の拡大を発表しました。ディスカバリージャパン(株)が運営する 2 チャンネルに、ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー傘下のターナージャパン(株)が運営する 3 チャンネルと J:COM の連結子会社であるジュピターエンタテインメント(株)が運営する 2 チャンネルを統合し、7 チャンネルを新合併会社となるディスカバリー・ジャパン(株)で運営します。

8 月 1 日から開始する本契約は、日本の視聴者に世界一流のエンターテインメントを提供し続ける両社の長年のパートナーシップを更に強化するものです。

新たなスキームのもと、合併会社で運営されるチャンネルは、ディスカバリーチャンネル、アニマルプラネット、カートゥーンネットワーク、MONDO TV、旅チャンネル、ムービープラスおよび女性チャンネル『Lala TV(以下「チャンネル」)』の 7 チャンネルです。

現在各チャンネルが視聴者に提供している TV 放送を中心としたサービスを、世界中で人気を博す多様なコンテンツによって大きくアップグレードしていくほか、ディスカバリーチャンネルやアニマルプラネットでは、それぞれのジャンルに特化した映画やドラマの提供にも新たに組み込み、メディアとしての幅を広げていきます。

また、多様なコンテンツの魅力をお客さまにお届けするべく、J:COM が営業面での役割を担います。

ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー 西太平洋担当プレジデント兼 マネージングディレクター James Gibbons のコメント

「ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーと J:COM は、これまでも日本で実績のあるパートナーシップを結んできましたが、この新たな合併契約では、両社がこれまで積み上げてきたアセットや深い専門知識を活用し、日本のお客さまにさらに魅力的な価値を提供します。合併事業の拡大に加えて、この戦略的提携では、SVOD プラットフォーム向けコンテンツやローカルでの共同制作コンテンツの検討など、両社の長期的なパートナーシップと更なる協業の機会を追求していきます。」

JCOM 株式会社 代表取締役社長 岩木陽一のコメント

「世界最高峰の IP 保有企業である、ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリーと緊密な戦略的関係を強化できることを喜ばしく思います。新たなパートナーシップのもと、日本にない魅力的なコンテンツや新しい SVOD プラットフォームの提供など、両者のアセットを活用してさらに革新的なサービスをお届けすることを検討していきます。また、J:COM がこれまで築き上げてきたお客さま、ケーブルテレビ事業者さま、プラットフォームの皆さまとのつながりを最大限生かすことにより、エンタメの更なる可能性と提供価値の向上に努めてまいります。」

戦略的提携の拡大に伴い今後両者では、良質なコンテンツやサービスの提供を通じ、日本国内のお客さまに更なる価値を提供してまいります。

JCOM 株式会社について

JCOM株式会社(ブランド名J:COM、本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社65局を通じて約563万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,229万世帯です。番組供給事業においては、14の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※世帯数は2023年3月末現在の数字です。